
彼のシャツ

桜桃

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

彼のシャツ

【Nコード】

N5783U

【作者名】

桜桃

【あらすじ】

新一と会えないまま、一ヶ月がすぎた・・・
近いのに、遠い・・・。

私は工藤蘭。

19歳。

新一と結婚して1年。

最近、私の旦那様、新一は事件で忙しい。

というか、帰ってこない。

いや、帰ってきてはいるのよ。

ただ、夜遅くに帰ってきて、早くに出てるみたい。

喋りたいから、3時までおきてたり・・・

朝の4時に起きたりっていろいろ挑戦はしてるけど・・・

結局睡魔に襲われてそのまま寝ちゃう。

新一と直接喋らなくなってから1ヶ月は過ぎたと思う。

「電話にかけるのも・・・やっぱり、だめだよね。
邪魔しちゃうよね・・・」

私は何もすることがなくて、ただイスに座り、呆然としていた。
新一と会いたい・・・。

もう、寝る時間だけど、新一に会いたい。
絶対今日こそ、起きてみせる！

なんて意気込んでみたけど、結局ダメだった・・・

「・・・やっぱり、寂しいよ・・・。新一・・・」

近くにいるはずなのに、1番遠い。

事件が解決するまでの辛抱だってわかってるけど
今すぐ会いたい。
ギュッと抱きしめてほしい。

「あつ・・・そうだった！」

私は衝動に駆られたように走る。
目的はタンス。

その中から一枚のシャツを取り出す。

「・・・新一の匂い・・・」

半分、私・・・危ないかも。
とか思いながらもシャツを抱きしめる。

今日の夜はこのシャツをきて寝ると心に決めた。

いざ、シャツを着てみると自分よりも大きくてブカブカだった。
それもそのハズなんだけど・・・。

でも、新一に抱きしめられているみたいで
すごく安心ができた。
守られてるみたいで、すごく嬉しかったの。

「・・・なんでシャツ着てんだ？」

「・・・え・・・？」

「いや、だから、なんで・・・」

新一の言葉が止まる。

きつと、私が泣いているせいだね。

「寂しかったから・・・だから、シャツきて・・・
少しでも、安心しようと思って・・・」

「わり・・・思ったより長引いて・・・」

「会いたかった。」

泣く私に新一は優しく抱きしめてくれる。

せつかく思いついたシャツを着て寝る。
という作戦。

使う前に本人が現れてしまった。

私って、運が悪いのやら・・・いいのやら・・・。

（後書き）

ただの自己満足のために書いた小説なので
どうか、お気になさらずに！！

桜桃

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5783u/>

彼のシャツ

2011年10月7日03時33分発行